

# コロナで地球が健康に!?

ははラボ  
通信 第4号

2020.12.24発行

今年の自粛生活で  
「水や空気が澄んだ!」「野生の動物が帰ってきた!」など  
世界から驚きの声がよく聞かれています!!

ははラボ所長・ひろしが  
現地よりお届けします!

ふだんは  
にごっている水路が  
底まで透けて  
見えるんだ!



ヴェネチア在住  
マルコさん

久しぶりに  
魚の群れを  
見たよ~◎

LAに30年住んでるけど  
こんなに空気が  
きれいなのは初めて  
の体験だよ!  
雪山まで見れちゃったよ



LA在住  
マイクさん  
(46)

生まれて  
はじめてヒマラヤ  
を見たよ!



空気汚れすぎて  
見れなかつたんだ  
よね~。もう青空も  
見れない、と思ってた~

インド・パンジャブ  
在住の男性

最近の楽しみは、  
夜のさんぽです。  
星が見えるんです!



中国・武漢在住  
の女性

## アフターコロナの世界で どちらを目指すか...

### 地球を壊して ディストピア

### それはあなた次第です

### 今から行動して ユートピア



~気候危機の解決策を提案・実践してます~  
「母なる地球を守ろう研究所」

メンバー  
募集中

略して「ははラボ」は現在理事  
3名(ひろし・まおむ・もりどう)で活動中!  
まずはfacebookをみてね



## 『コロナで地球が健康に』

新型コロナウイルスは発生からもうすぐ1年が経とうとしています。世界の死者数は170万人を超えました。世界中で人間の活動を厳しく制限するロックダウンが行われたところ、大気も水質も格段にきれいになり、野生生物が戻ってきました。朝日新聞Globe+は、タイトルにあるように『コロナで地球が健康に』（2020年8月、No.232）<sup>1)</sup>としました。

メルマガ3号では、科学者から警告されても、若者からダメ出しされても、地球を壊し続けるのはダメな大人、それも世界の名だたる政治家や大会社の社長であることをイラストにまとめました。

新型コロナウイルスは正式名称をSARS-CoV-2と言います。2003年に発生したSARSコロナウイルス（正式名称SARS-CoV）、2012年に発生したMERSコロナウイルス（名称MERS-CoV）と、わずか20年にも満たない間に3種もの新型コロナウイルスが発生しました。これはとても異常なことです。野生動物の生育環境である熱帯雨林の破壊が止まりません。野生生物の違法な国際取引も止まりません。感染症の専門家は、熱帯雨林の破壊や野生生物の違法取引によって、野生生物と人間の接触が増えるほど、野生生物の感染症が人間に感染するようになると警告してきました<sup>2)</sup>。ここでも、ダメな大人は専門家の警告を聞き入れませんでした。

新型コロナウイルスが発生して、目の前でバタバタ人が死んだら、ダメな大人もようやく地球破壊に大きなブレーキをかけざるを得ませんでした。2020年のCO<sub>2</sub>排出量は7%減の見込みです<sup>3)</sup>。別の言い方をすれば、多数の犠牲を払わないと地球の破壊を止められなかったのです。新型コロナウイルスは、まるで地球から派遣されたメッセンジャーではありませんか!?

2020年は新型コロナウイルスが世界的に大発生したパンデミックの年として歴史に刻まれるでしょう。2021年からの1年1年を母なる地球を守る1年1年として歴史に刻むことができるでしょうか。それは、我々ひとり一人にかかっています。人間が引き起こしたのですから、人間自身が良い方向に変えられるはずです。

<注>

- 1) 『コロナで地球が健康に』は印刷版のタイトルです。タイトルは違いますが、同等の内容をネットで無料で読むことができます。
- 2) 石弘之『感染症の世界史』角川ソフィア文庫（2018）
- 3) 『Global Carbon Budget 2020』Earth System Science Data, 12, 3269–3340（2020）

<参考資料>

『水が澄み、山が見えた 新型コロナで「環境は自分の手で改善できる」を学んだ私たち』朝日新聞Globe+（2020年8月6日）

『【竹村俊彦】新型コロナが生んだ環境改善、持続させるために必要なこと』朝日新聞Globe+（2020年8月6日）